

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2021年11月24日
 派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(2日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	室蘭市役所	代表者名	青山 剛
担当者部署	企画財政部	連絡先電話番号	0143-25-2712
担当者役職	主事	担当者氏名	澤田 将
住所	051-8511 北海道室蘭市1-2		

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	山形 巧哉
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	資料がわかりやすく、ところどころジョークも交えてもらい、飽きずに聞けたという感想が参加者から多かった。
アドバイザーへの要望事項	今後も支援を継続してもらいたい

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2021年11月18日	13時00分	17時00分	10	230
3-2. 派遣場所	会場名	室蘭市役所本庁舎(2F)		最寄駅	オンライン
	所在地	室蘭市幸町1-2		最寄駅からの交通手段	徒歩(公用車による送迎も可能です)
	派遣形態	講演(実地)			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可
------	--------------------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	職員(係長職以下)	35人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	自治体DXを進めるうえで、そのものに対する理解が乏しい 自治体DXを進めていく必要性を意識できていない	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	職員の意識改革	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	講演を行っていただき、職員の意識改善を図った。その後、ワークショップを開催しDXを意識した課題解決に向けたプロセスを再確認した。併せて業務を進める上で感じているストレスをワークショップの中で吐き出してもらい、内部管理系の所属へフィードバックした。	
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	意識改善の第一ステップを踏む出すことができた。職員同士のコミュニケーションが必要だということが全体で認識できた。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥組織業務改善ができた
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容(具体的にご記入ください)	具体的にDXを進めていくにはどうしたらいいか。次のステップにどう行くか	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 添付します	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある
事業の最終的な目指す姿		

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

